

# 平成 27 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 角谷 常子

最終学歴	京都大学大学院文学研究科単位取得退学	
取得学位	博士(文学)	
所属学会	東洋史研究会 東方学会 日本秦漢史学会 木簡学会 出土資料学会 史学会	
専門分野	中国古代史	
研究課題	中国古代の文字資料と社会背景	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東洋史特殊講義</li> <li>・史学研究法</li> <li>・東洋史講読</li> <li>・東洋史演習</li> <li>・東洋史概論</li> <li>・東洋史史料実習</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際文化財史科学演習</li> <li>・国際文化財史科学特殊講義</li> <li>・</li> </ul>
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東洋史概論</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
【研究上の特記事項】	<p>科学研究費補助金 基盤研究(A)「文字文化からみた東アジア社会の比較研究」(研究代表者) 2015年9月に中国石刻調査を実施。2016年3月に熊本方面石刻調査を実施。</p> <p>科学研究費補助金 基盤研究(C)「秦簡『数』など秦漢期の古算書および『九章算術』の数学史における位置付けの研究」(研究分担者)</p> <p>科学研究費補助金 基盤研究(A)「古代中世東アジアの関所と交通政策」(連携研究者)2015年8月に韓国調査に参加。</p> <p>科学研究費補助金 基盤研究」(A)「新出簡牘資料による漢魏交替期の地域社会と地方行政システムに関する総合的研究」(研究分担者)</p> <p>東京外国語大学AA研究所 共同研究「里耶秦簡と西北漢簡にみる秦・漢の継承と変革—中国古代簡 牘の横断領域的研究(2)」研究員</p>	
【教育上の特記事項】	<p>* 銅銭や木簡など、実物資料による授業を実践。</p> <p>* 中国と日本及びヨーロッパ諸国を比較した視点からの授業の実践。</p>	
【社会的活動】	<p>* 秦漢史学会理事、『古代文化』編集委員、木簡学会委員。</p> <p>* 日本セカンドライフ協会での講演(年4回)</p>	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	就職委員・人事委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①『ジェンダーの中国史』	共著	2015年11月	小浜正子編 勉誠出版	前漢時代の呂后が悪女とされた時代背景を述べ、いかにして悪女が作られたかを考察した。
②				
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(学会発表)				
①「中国古代の史をめぐって」	単	2015年5月	科研(研究代表者 關尾史郎)研究報告	中国古代の史と佐の役割とその歴史的意義について考察した。
②「刻石の作成者をめぐって～紀功碑を中心に」	単	2015年4月	科研(研究代表者角谷常子)研究報告	中国古代石刻における製作者とその社会的背景を述べた。
③「韓仁銘について」	単	2015年6月	科研(研究代表者 角谷常子)研究報告	為政者が刻石を立てることによって人を顕彰することの意義を述べた。
④				
⑤				
(その他)				
①中国古代の外交	単	2015年9月	JASSクラブ 中国史講座	中国古代において国内のみならず周辺諸国全般にわたる広範囲な外交戦略がとられていたことを述べた。
②野口優「漢魏時代における紙と簡牘の併用」へのコメント	単	2015年10月	歴史学ジョーラム2015	紙木併用を考える際、簡牘世界の秩序の重要性を考慮すべきことを述べた。
③武の日本と文の中国	単	2015年11月	JASSクラブ 中国史講座	文と武が併存した日本と文を優位におく中国の特質を述べた。
④古代中国の死刑	単	2016年2月	JASSクラブ 中国史講座	中国古代の死刑の実態と、皇帝支配の関係について述べた。
⑤				